

## &lt; 運営推進会議における評価\_様式例 &gt; ※公表用

## 【事業所概要】

法人名	医療法人社団恵正会	事業所名	看護小規模多機能ホームやすらぎ
所在地	(〒 731- 0021 ) 広島市安佐北区可部5丁目9-3		

## 【事業所の特徴、特に力を入れている点】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療的ケアの必要度が高い要介護状態（要介護1～5）のご利用者の療養生活から看取りまでのサービスを提供します。</li> <li>・ がんや難病の末期に対応し、緩和ケアやターミナルケアを主治医と連携して実施します。</li> <li>・ がんや難病の末期で自宅での看取りが難しい場合は、同一建物内の賃貸住宅への入居もお取次ぎ可能です。</li> <li>・ 泊りは9室あり、空き状況により体調不良や介護者の急用等で必要な場合は急遽の泊りも対応可能です。</li> <li>・ 医療的ケアの実績（医療用麻薬を含む疼痛ケア、点滴、痰吸引、胃ろう、経鼻栄養、カテーテル管理、酸素吸入、褥瘡処置、ストマ等）</li> <li>・ ご利用者の「自分らしさ、自分らしく」に寄り添う介護・看護職員によるサービスを専属ケアマネジャーが計画します。</li> </ul>
--

## 【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2025 年 1 月 20 日	従業者等自己評価 実施人数	( 25 ) 人	※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	----------	---------

## 【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2024 年 2 月 18 日	出席人数（合計）	( 7 ) 人	※自事業所職員を含む
出席者（内訳）	<input checked="" type="checkbox"/> 自事業所職員 ( 3 ) 人 <input type="checkbox"/> 市町村職員 ( ___ ) 人 <input checked="" type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 ( 1 ) 人 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の代表者 ( 1 ) 人 <input type="checkbox"/> 利用者 ( ___ ) 人 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の家族 ( 1 ) 人 <input checked="" type="checkbox"/> 知見を有する者 ( 1 ) 人 <input type="checkbox"/> その他 ( ___ ) 人			

■ 前回の改善計画の進捗評価 (令和5年度より、看護小規模多機能型居宅介護の様式へ変更)

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
<p>I. 事業運営の評価 (評価項目 1~10)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所自己評価の評価方法について再度研修を行う</li> <li>・日々のミーティングの時間で事業所内カンファレンスを行い、ご利用者・ご家族の意向やニーズを把握し共有する</li> <li>・サービス担当者会議を適宜開催する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォンの Google フォームを使用して評価を集める事にした。</li> <li>・朝のミーティング内で必要に応じてカンファレンスを実施した。</li> <li>・予め開催日について、事務所内ホワイトボードに月間予定として記入した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の都合にそれぞれ合わせて評価が出来た。</li> <li>・多くの意見やケア方法をつ検討し個別ケアを実施できた。</li> <li>・前年度に比べ担当者が中心となりミーティングの時間を使い開催の機会ができるようになった。</li> <li>・評価項目とも適切に取り組まれている。</li> <li>・項目によっては評価が分かれているものがあるが、この点についての考察が必要ではないか。</li> </ul>	
<p>II. サービス提供等の評価</p>	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11~27)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス計画書の目標を本人・家族にもわかりやすい表記で達成したことがわかる指標や言葉で設定する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行練習、立ち上がり訓練等活動的指標は取り組んでいる</li> <li>・その他の方の基本的計画は実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動的なことは出来ているが、それ以外の方の指標や表記方法については次年度に繋げる。</li> <li>・基本的なケアは出来ている。</li> <li>・利用者の状況把握に努められている。</li> <li>・多機能の強みを生かした多職種連携が図られている。</li> <li>・カンファレンスやサービス内容について情報共有は図れているが、記録内容が薄い。</li> </ul>

	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議に管理者と計画作成担当者以外の職員を参加できるようにする</li> </ul>	2024年～地域連携についてスタッフも携われるよう、連携会議へ参加するように年間計画を立てた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関連携のみならず、地域活動や情報について共有する場に参加することで、アピールや関わりが持ちやすくなった。</li> <li>利用者の為有益な機会・情報とは何か収集先の再検討も必要ではないか。</li> </ul>
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議で得た、地域情報を職員と共有し地域活動につなげる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域とのより密接な関係を構築するため行事や祭りなどに参加した。</li> <li>また医療訪問看護やご家族へ介護指導なども積極的に行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域情報の共有と発信への取り組みはしっかり出来ている</li> <li>また、医療ニーズの高いご利用者も常に受け入れしている。</li> <li>医療ニーズの高い要介護者に対して積極的に対応されている。</li> <li>啓発活動には事業所単体では実施できていない。</li> </ul>
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)	<ul style="list-style-type: none"> <li>健全で安定した事業継続を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>24時間体制での事業所運営に伴い、再度待機職員の動きの確認と周知の徹底。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>待機職員の出勤があった際トラブルなく各職員がスムーズに対応できている。</li> </ul>	

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画
<p>I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝ミーティング前にはこのみやグループ理念や基本方針の唱和を定例化しており、職員一人ひとりが理念を基にケアが実践できるよう意識づけができる機会を作っている。</li> <li>・事業所、個人の目標管理シートを昨年度から活用をしており、可視化することや、年間計画を作成し目標達成に向け個々が取り組みやすく、自己研鑽に努めやすい環境や機会を作っている。</li> <li>・ICTの活用による記録管理や情報共有アプリの活用により、利用者情報や、事故や感染情報がタイムリーに把握できるようになってきた。業務の効率化を図れるような環境づくりをしている。</li> <li>・災害緊急時の対応については、マニュアルが実践できるよう訓練を早めに実施する必要がある。(2/27実施)</li> <li>・インシデント・アクシデントについては、気づきやレポート記載は定着できているが、同様な案件が報告される場合がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①理念の唱和を継続することで、職員・専門職・地域の一員として役割や責務を意識した事業所風土の一体化を図る。</li> <li>②今年度の年間計画について職員全体で評価を行う。修正や目標達成に不足部分があれば考察し、さらに取り組みやすい計画を職員全体で作成、実施に繋げる。</li> <li>③情報共有ツールにより情報共有を行え、利用者に対しケアの統一化が図れるよう活用する。 情報ツールの活用のみならず、サービス記録や計画の充実化や定着化。</li> <li>④災害緊急時の対応が実践できるよう、年2回訓練を実施する。</li> <li>⑤リスク委員会を中心にインシデント・アクシデント予防に対する意識づけや、評価方法等仕組み作りをする。(送迎車両のインシデント・アクシデントについても同様)</li> </ul>
<p>II. サービス提供等の評価</p>	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者のニーズに合わせた柔軟なサービスが提供できるよう体制となった。</li> <li>・利用者、家族の意向を中心に多職種の強みを生かしたカンファレンスが実施できるようにしている。</li> <li>・以前に比べスムーズな対応体制が整えられるようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑤カンファレンスやケア内容について、サービス記録に残し全体で振り返りを行う。</li> </ul>

	<p>2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)</p>	<p>・医療機関のみならず、地域活動や研修会、管理者のみならず運営推進会議へ参加について今年度から年間計画に組みこみ取り組んだ。しかしながら、地域の社会資源や情報収集については評価が低い結果となった。 次年度は年間計画を継続し、事業所全体で地域の課題について理解や意識が高まるように取り組む必要がある。</p>	<p>⑥事業所の改善計画が遂行できるよう、スタッフミーティングや運営推進会議、地域活動など管理者以外の職員も知る機会ができるよう引き続き年間計画に組み込む。 ⑦運営推進会議や地域活動参加、研修参加など職員の参加しやすい環境を整える。 参加した職員が自ら伝達や振り返りができ、知識や技術の向上に繋げられる仕組みをつくる。</p>
	<p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)</p>	<p>・地域との関わりについて前年度より職員が参加できる環境ではあった。 ・医療、介護ニーズに迅速に対応できる体制である。 ・地域住民向けの啓発活動について実施できていない。</p>	<p>⑧事業所単体では実践化できていないが、法人全体での活動に参加および、職員への周知ができるよう情報共有を行っていく。</p>
<p>Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)</p>		<p>・健全で安定した事業所運営を行うために、24時間対応体制で夜間待機人員配置を行っているが、待機職員の臨時出動ではスムーズに動くことができた。</p>	<p>⑨利用者への満足度調査や利用終了後のグリーフケアから声を聴くことで、看多機やすらぎの質の向上につなげていく。 地域活動への参加により繋がりを深める。</p>

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します